学校番号	T1202

令和８年度　工業科

教科	工業	科目	溶接アート	単位数	2 単位	年次	2～4 年次
使用教科書	自主制作教材						
副教材等	特になし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

アーク溶接作業に必要な装置の構成を学び、各種溶接技術を習得する。
溶接技術を応用してデザイン的な生活に密着した作品を製作する。

2　学習の到達目標

【知識及び技術】
アーク溶接作業に必要な装置の構成や、各種溶接に関する知識と技術を習得し、実践的な場で活用する能力を身につけている。

【思考力、判断力、表現力等】
溶接技術に関する諸課題の解決をめざして思考を深め、技術者として適切に判断する力を養い、表現する創造的な能力を身につける。

【学びに向かう力、人間性等】
各種溶接技術の向上をめざし、主体的・実践的に取り組もうとする態度を養い、身につけようとしている。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技術	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	アーク溶接作業に必要な装置の構成を学び、各種溶接技術を習得する。	溶接技術を応用して、デザイン的な生活に密着した作品を自ら考え設計し、製作を行う。	各種溶接技術を積極的に学び、作品を通して学びに向かう態度を育もうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

前期	後期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
					知(a)	思(b)	主(c)
4月	10月	・ストレートビード ・ウィービングビード	・ストレートビードの練習 ・ウィービングビードの練習	a:ストレート・ウィービングビートの方法を知り、技術を高める。 b:理想的なビートをするには、どのようにすればよいか考え、表現する。 c:アーク溶接に関心を持ち、考察しようとする。	・ワークシート ・口頭試問	・パフォーマンス課題	・授業観察 ・振り返りシート
5月	11月	・突合せ溶接 ・すみ肉溶接	・突合せ溶接およびすみ肉溶接の練習	a:突合せ溶接・すみ肉溶接の方法を知り、アーク溶接の技術を高める。 b:突合せ・すみ肉溶接をうまくするには、どのようにすればよいか考え、正しく判断することができる。 c:アーク溶接に関心を持ち、考察しようとする。	・ワークシート ・口頭試問	・パフォーマンス課題	・授業観察 ・振り返りシート
6月 7月	12月 1月	・ブックエンドの製作	・ブックエンドのデザイン、設計 ・鋼材の切断と溶接による組み立て ・塗装	a:これまで学んだ技術を活かして、ブックエンドの製作に必要な知識・技術を身につけることができる。 b:使用するブックエンドについて、自らの考えを表現し、正しく判断することができる。 c:ブックエンドの製作に関心を持ち、積極的に取り組もうとしている。	・ワークシート ・口頭試問	・パフォーマンス課題	・授業観察 ・振り返りシート
9月	2月	・傘立ての製作	・傘立てのデザイン、設計 ・鋼材の切断と溶接による組み立て ・塗装	a:これまで学んだ技術を活かして、傘立ての製作に必要な知識・技術を身につけることができる。 b:使用する傘立てについて、自らの考えを表現し、正しく判断することができる。 c:傘立ての製作に関心を持ち、積極的に取り組もうとしている。	・ワークシート ・口頭試問	・パフォーマンス課題	・授業観察 ・振り返りシート

※　表中の観点について　a:知識・技術　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度